

会議録（要点筆記）

会議名	第2回みやま市地域公共交通活性化協議会及びみやま市地域公共交通会議
開催日時	令和7年6月4日（水）午後2時00分～午後2時55分
開催場所	みやま市総合市民センター 第1会議室
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長、副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みやま市地域公共交通活性化協議会及びみやま市地域公共交通会議 <p>3 議事</p> <p>（1）報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告第1号 令和7年度第1回会議録（要点筆記）の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・みやま市地域公共交通活性化協議会及びみやま市地域公共交通会議 ・報告第2号 令和6年度みやま市地域公共交通活性化協議会事業報告について ・報告第3号 令和6年度みやま市地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算及び会計監査報告について ・報告第4号 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について <p>（2）協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 令和7年度みやま市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）について ・議案第2号 令和7年度みやま市地域公共交通活性化協議会収支予算（案）について ・議案第3号 令和6年度みやま市地域公共交通計画の実施状況の評価等結果（案）について ・議案第4号 令和8年度地域公共交通計画認定申請書（案）について <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
委員出席者	森田委員、吉武委員、坂元委員、田中智太郎委員、徳永委員、大塚委員（代理：大塚弾二郎）、前原委員、松尾浩助委員、古川委員、松尾隆介委員、大津委員、田中徳光委員、松尾正幸委員、永松委員（代理：辻）、坂井委員、田中裕也委員、三重野委員（代理：森田）
欠席者	大石委員、江口委員

事務局	村越総合政策課長、江崎公共交通政策係長、吉開
傍聴者数	無
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式次第 ・ 委員名簿 ・ 委嘱状 ・ 報告事項一式 ・ 協議事項一式

1 開会

＜村越総合政策課長より開会＞

配布資料の確認。

欠席委員、代理出席委員の報告。地域公共交通活性化協議会および地域公共交通会議の役割について説明。

2 会長、副会長の選任について

- ・ みやま市地域公共交通活性化協議会及びみやま市地域公共交通会議

【事務局】

本市では2つの会議を同時に開催していることから、同じ委員に役職をお願いする必要があります。これまでは会長に副市長、副会長に行政区長会長、監査委員に民生委員児童委員協議会の方々にお願いをしている経過がございます。今回につきましてはいかがいたしましょうか。

【徳永委員】

今回についてもこれまでどおり進めていただければと思います。

【事務局】

ただいま徳永委員から、これまでどおりで進めたらどうかというご提案を受けましたが、皆様いかがでしょうか。

＜意見なし 委員、了承＞

【事務局】

それでは、会長に森田委員、副会長に松尾浩助委員、監査委員に田中徳光委員にお願いしたいと思います。議事につきましては、規約により「会長が議長となる」と規定されておりますので、ここからは森田会長より議事進行をお願いいたします。森田会長、よろしくお願いします。

3 議事

(1) 報告事項

①報告第1号 令和7年度第1回会議録（要点筆記）の確認について

【会長】

ご意見及びご質問等はございますか。

＜意見、質問なし 委員、了承＞

それでは、会議録を確定し、市ホームページで公表させていただきます。

②報告第2号 令和6年度みやま市地域公共交通活性化協議会事業報告について

③報告第3号 令和6年度みやま市地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算及び会計監査報告について

【会長】

報告事項は関連していますので事務局より続けて説明をお願いします。

＜事務局から説明＞

・令和6年度みやま市地域公共交通活性化協議会事業報告及び令和6年度みやま市地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算及び会計監査報告について

＜田中監査委員より会計監査報告＞

【会長】

ご意見及びご質問等はございますか。

＜意見、質問なし。委員、了承＞

④報告第4号 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について

【会長】

それでは、事務局より説明をお願いします。

＜事務局より説明＞

・令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について説明。

【会長】

ご意見及びご質問等はございますか。

＜意見、質問なし。委員、了承＞

(2) 協議事項

①議案第1号 令和7年度みやま市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）について

②議案第2号 令和7年度みやま市地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算（案）について

【会長】

それでは、事務局から説明をお願いします。

＜事務局から説明＞

・令和7年度みやま市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）および令和7年度みやま市地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算（案）について説明。

【会長】

質疑を行います。ご意見及び質問等はございますか。

【辻氏】

今年度の取組内容で記載されている出前講座ですが、具体的にどのようなことをされているのか、また既に山川地区で実施されたということでしたが、どちらから働きかけを行ったのか教えてください。

【事務局】

出前講座は社会教育課が所管しておりまして、市の施策を各地域の団体やサロンに紹介する制度でございます。公共交通の出前講座につきましては、これまでの市の公共交通の歩み、取り巻く状況、実証実験の概要等について説明をしております。今後は実証実験等も予定しておりますので、時期が近づきましたら、より具体的な内容、例えば予約制乗合タクシーの使い方など市民のニーズに応じてご説明をしていきたいと思っております。働きかけにつきましては、地域から要望があつてそれにお応えする形となっております。

【辻氏】

今年度は予約制乗合タクシーの実証実験をされるため、周知や乗り方などの説明が大事になるかと思っておりますので、市民の方に知っていただくような取組を実施していただきたいと思っております。

【前原委員】

乗合タクシー事業に対する啓発活動は、出前講座などで実施しているとの説明がありました。私も様々な機会で市民の方と話をしますが、この周知があまり徹底されていないと思っております。広報紙などで周知をされるのは結構ですが、市民からの要請があつてからではなく、市の方から積極的に広報、周知を行うべきだと思います。予約制乗合タクシーの利用が一番多いのは高齢者だと思いますが、高齢者の方々にはサロンなど様々な活動の場があります。また老人クラブの会合などに積極的に声をかけ、出向いていただきたいと思っております。予約制乗合タクシーの認知度はまだ低いと思っておりますので、積極的な周知を実施していただきたいと思っております。

【事務局】

出前講座については、今年度4件ほど申込があつている状況です。委員ご指摘のとおり、市からもしっかりと情報発信に努めていきたいと思っておりますし、今年度10月からは実証実験を行いますので、協議会の予算には入っていませんが、市の予算で啓発チラシ等の全戸配布などを計上しておりますので、そちらで啓発活動を実施してまいります。また行政区長会や民生委員児童委員協議会、老人クラブなどにもご協力をいただきながら、積極的に情報発信を行い、より多くの方にタクシーを利用していただくように努めてまいります。

【会長】

その他委員の皆様からご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

＜委員から意見及び質問なし＞

【会長】

それでは、令和6年度みやま市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）及び令和6年度みやま市地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算（案）について、承認することにご異議ございませんか。

＜異議なし 委員、了承＞

③議案第3号 令和6年度みやま市地域公共交通計画の評価等結果（案）について

【会長】

それでは、事務局から説明をお願いします。

＜事務局から説明＞

- ・令和6年度みやま市地域公共交通計画の評価等結果（案）について説明。

【会長】

質疑を行います。ご意見及び質問等はございますか。

【吉武委員】

コミュニティバスの収支率についてですが、評価・次年度に向けた課題や取組のところで、利便性の向上に努めると記載していますが、目標は収支率となっており、収支率を上げるためには取組としては路線ダイヤの見直しと記載されています。次年度の取組としては利便性の向上が必要なのではないでしょうか。収支率ということであれば、違うのではないのでしょうか。例えば再編を図ることで、収支の状況を改善するなら理解できます。利便性を向上したから利用が増えるかどうかかわからないのではないかとということです。

【事務局】

ご指摘いただいたとおり、再編を行うことで収支率の向上を図るという形で文言に改めさせていただければと思います。

【辻氏】

公共交通に対する市民の満足度の調査についてですが、目標値が35%で令和3年の実績が26.1%、今回の実績が22.1%と満足度はだいぶ低い印象です。目標を公共交通に対する市民の満足度で定めているため、市民全体を分母にされていると思います。達成状況・分析の部分は、利用者の満足度が低いという原因の分析に至っていると思います。公共交通を利用していない人がほとんどだと思いますので、その方々への取組こそが対策につながっていくと思います。対策としては、利便性を向上するという事で整合されていると思います。分析については市民全体という目線で考えていただいた方がいいのかなと思います。

【事務局】

頂いたご意見を基に事務局で精査いたしまして、適切な評価について検討していきたいと思います。

【会長】

先ほどの点については文言を修正するということによろしいでしょうか。

【事務局】

頂いたご指摘を基に文言を修正したいと思います。

【会長】

他に委員の皆様方からご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

＜委員から意見及び質問なし＞

【会長】

議案第3号につきましては2点修正意見を頂いております。こちらの内容の修正につきましては事務局の方に一任するという形でご承認をいただければと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

＜異議なし 委員、了承＞

④議案第4号 令和8年度地域公共交通計画認定申請書（案）について

【会長】

それでは、事務局から説明をお願いします。

＜事務局から説明＞

- ・令和8年度地域公共交通計画認定申請書（案）について説明。

【会長】

私の方からの確認ですが、先ほど事務局からご説明がありましたとおり、18ページから19ページにかけて、令和8年度から令和10年度の定量的な目標というのが記載されておりますが、これにつきましては、今後の予約制乗合タクシーの導入にあわせてコミュニティバスの廃止となる路線が出てきます。そのため変更申請を改めて国に出す必要がありますが、その内容については次回の会議のときに審議いただくという認識でよろしいでしょうか。

【事務局】

お見込みの通りなっております。次回は12月に協議会を開催予定ですので、その協議会までに事務局で内容を精査し、委員の皆様にご提案させていただきます。

【吉武委員】

19ページの目標を達成するために行う事業に「モビリティ・マネジメント」という文言が記載してあります。この事業は今まで実施されてなかったと思いますが、新規で予定されているという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

モビリティ・マネジメントと記載はしていますが、内容としては下の段に記載している出前講座と同様の内容となります。記載内容としては重複していますが部分、出前講座という形でご認識していただければ結構です。

【吉武委員】

一般論としてはモビリティ・マネジメントとは各個人で行動計画を立て、具体的に実施することを指しますので、モビリティ・マネジメントの意味、内容が出前講座ということであれば、その名称を使っていた方が誤解はないかと思います。

【事務局】

ご指摘ありがとうございます。文言等を修正して事務局の方で中身を精査して、運輸支局にご提出させていただきます。

【会長】

それでは、令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について、先ほどご指摘をいただいた箇所につきましては、事務局の方で修正いただいた上で、運輸支局様の方にご提出いただくということで、承認を賜りたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

<異議なし 委員、了承>

4 その他

【事務局】

皆様の方から何かございますでしょうか。

【徳永委員】

今回の協議会が12月に開催ということでしたが、実証実験を行う上で様々な意見を頂いたり、運賃協議会を開催し運賃を決定した後に3月から本格運行となると、運賃申請などスケジュールがかなりタイトになるのではないかと思います。今回の協議会開催が12月で大丈夫なのかという点と運賃協議会を設定する時期等についてお聞きします。

【事務局】

今後想定する定例の会議としては12月を予定しておりますが、本年度は10月から実証実験も行いますし、本市の公共交通体系の切替の時期でもありますので、必要な議案等が生じましたら、適宜協議会を開催することもあるかと思いますので、運賃について協議が必要な場合は、対象の委員で協議会を開催させていただきたいと思います。その際は早めに委員の皆様にご連絡を差し上げたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

5 閉会

閉会 午後2時55分